

①環境対策について

私たちが暮らす都市では、私たちの生活を送る上で大量のエネルギーや生物資源を使用しており、温室効果ガスの排出や生態系の劣化など地球環境に大きな負荷をかけています。これにより、地球温暖化による大型台風の頻発などの異常気象や海面上昇、更には生物多様性の危機など、私たちの生活に大きな影響を及ぼすことが懸念されています。

今回のアンケートは、市民のみなさまに身近な自然や地球温暖化防止に対する考え方などをおたずねし、今後の施策の検討に役立ててまいります。

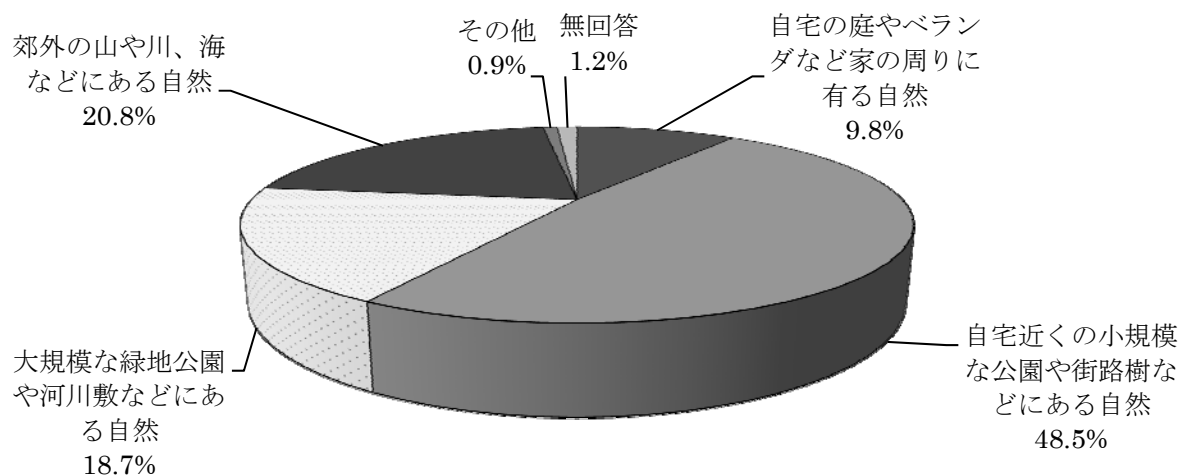
※このアンケートでの「自然」は、水辺や緑、そこに集まる生き物を指します。

※各図表の「N」は、回答者総数を表しています。

<生物多様性 身近な自然の保全・再生について>

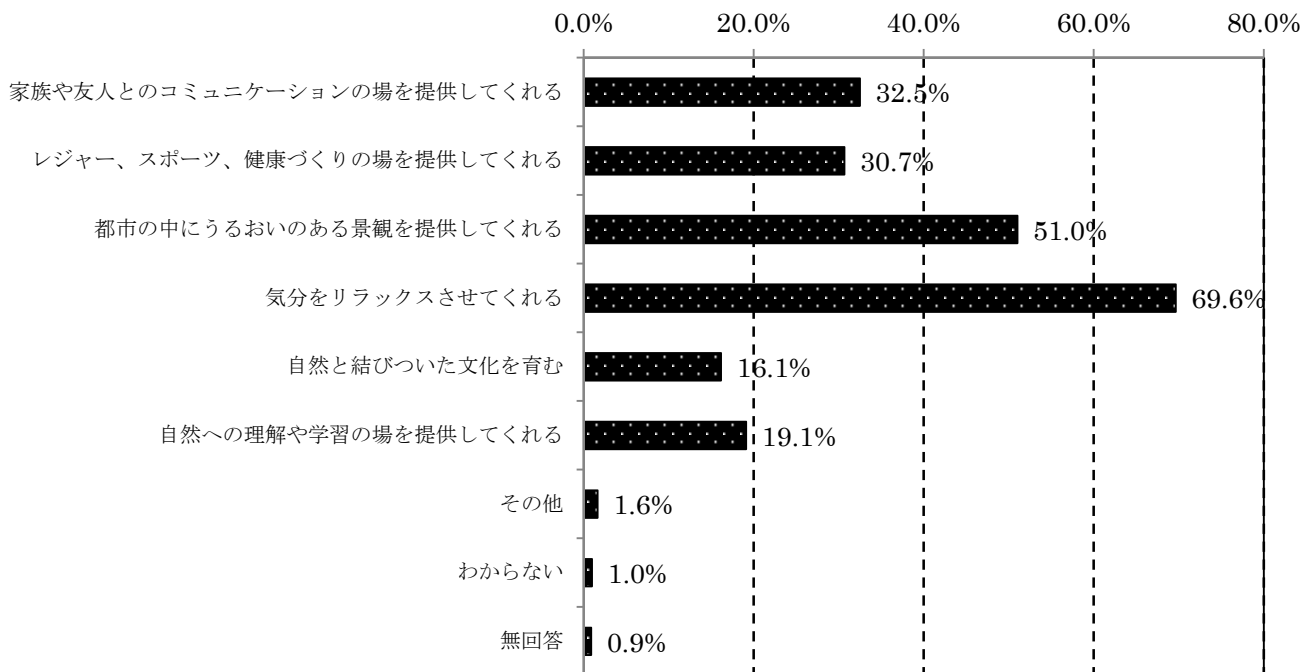
問1 あなたが「身近な自然」という言葉から最初にイメージする自然は、どのようなものですか。(〇は**1つだけ**)

N=1,047



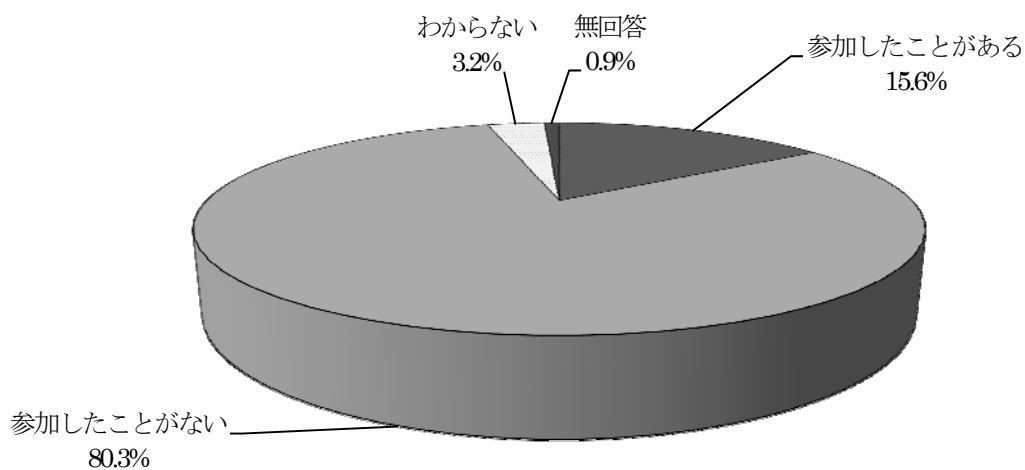
問2 あなたは身近な自然にどのような役割を期待しますか。(○は3つまで)

N=1,047



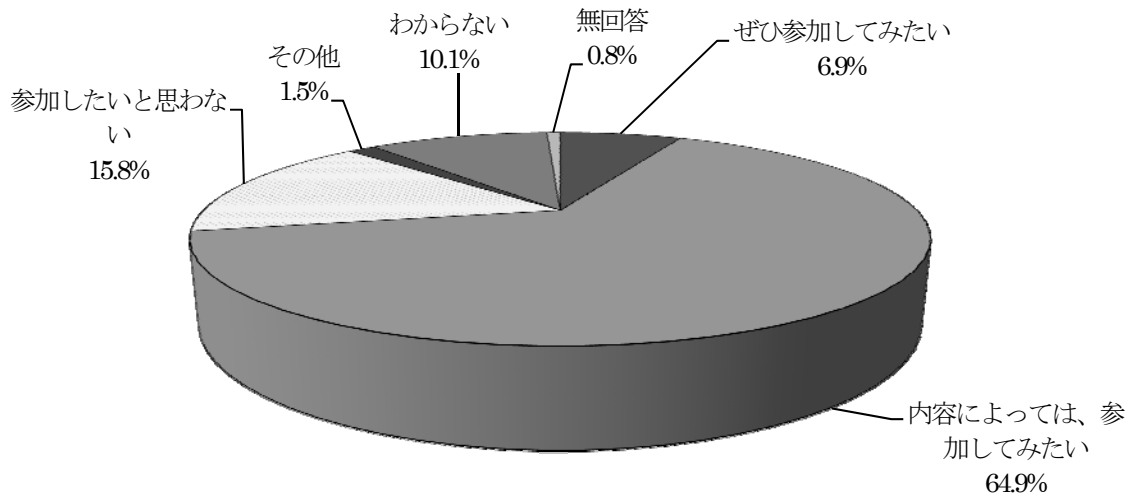
問3 あなたは、自然観察会など、身近な自然について学ぶための講座や参加体験型の事業に参加したことはありますか。(○は1つだけ)

N=1,047



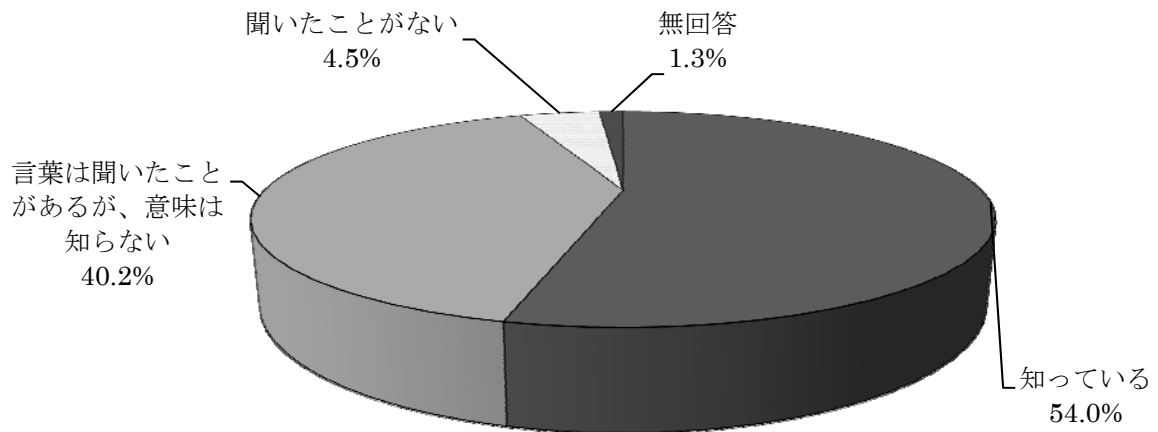
問4 名古屋市では、名古屋の身近な自然について学んだり、ふれあうための講座や参加体験型の事業を実施していく予定です。あなたは、このような講座などに参加してみたいと思いますか。（○は1つだけ）

N=1,047



問5 あなたは、「^{せいぶつたようせい}生物多様性」という言葉を知っていますか。（○は1つだけ）

N=1,047



<藤前干潟について>

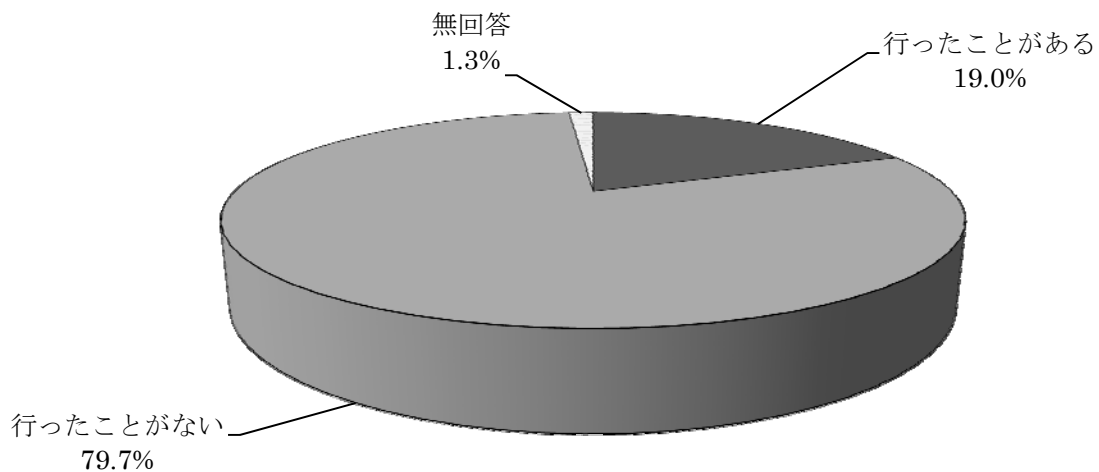
藤前干潟は、市内に残された貴重な自然の一つで、渡り鳥の飛来地として国際的に重要な湿地であるほか、ゴカイ、シジミ、ハゼなど様々な生き物が生息しています。

また、藤前干潟では環境教育の拠点となる環境省の施設「稲永ビジターセンター」「藤前活動センター」を中心に、干潟の生きもの観察会などを実施し、多くの人々に環境学習の機会を提供しています。

なお、日本は、1980年に「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」いわゆる「ラムサール条約」の締約国となり、藤前干潟は2002年11月に登録湿地となりました。

問6 あなたは、藤前干潟へ行ったことがありますか。（○は1つだけ）

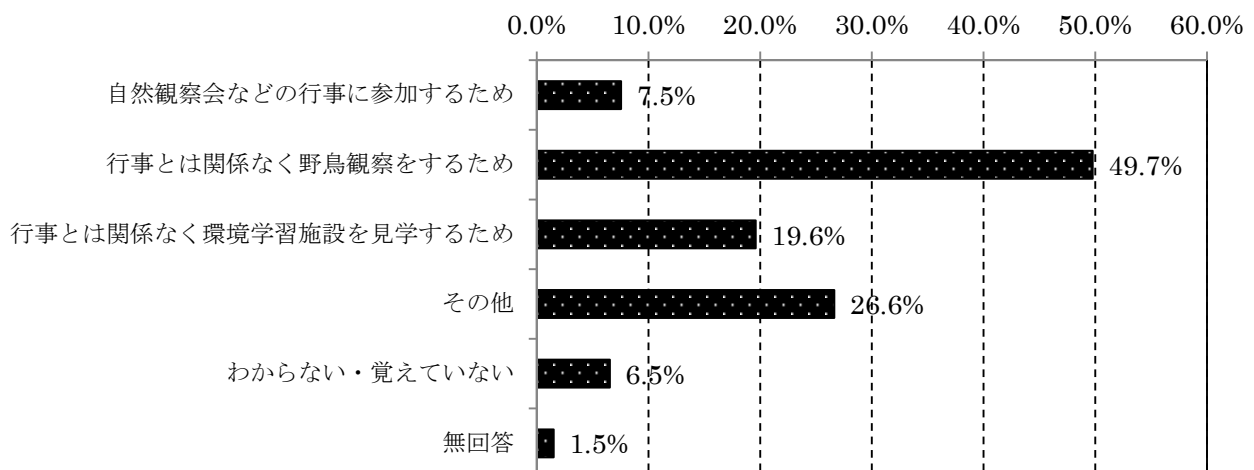
N=1,047



《問6で1と答えた方（藤前干潟へ行ったことがある方）におたずねします》

問7 藤前干潟に行った目的は何ですか。（○はいくつでも）

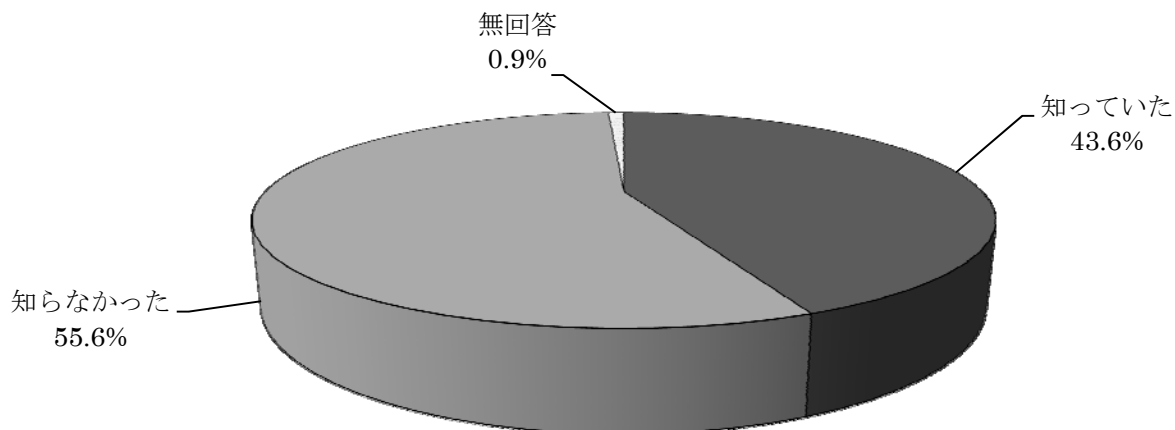
N=199



《すべての方におたずねします。》

問8 あなたは、藤前干潟がラムサール条約の登録湿地であることを知っていましたか。
(○は1つだけ)

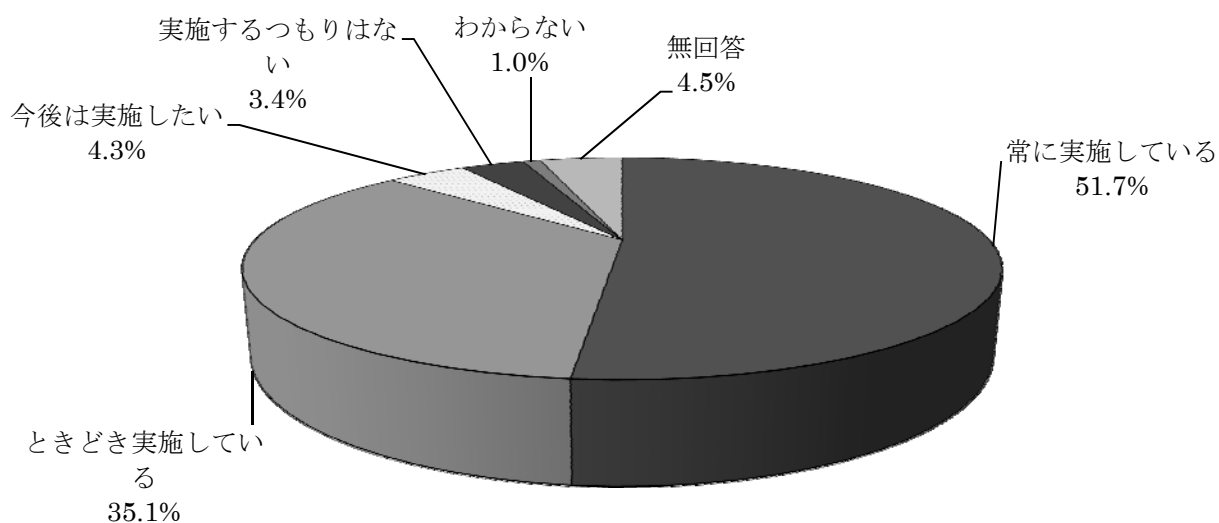
N=1,047



問9 以下の選択肢は日常生活の中で出来る環境にやさしい生活（エコライフ）の取り組みの主なものですが、あなたが取り組んでいることは何ですか。
(それぞれの項目について、該当する番号に○を1つだけつけてください)

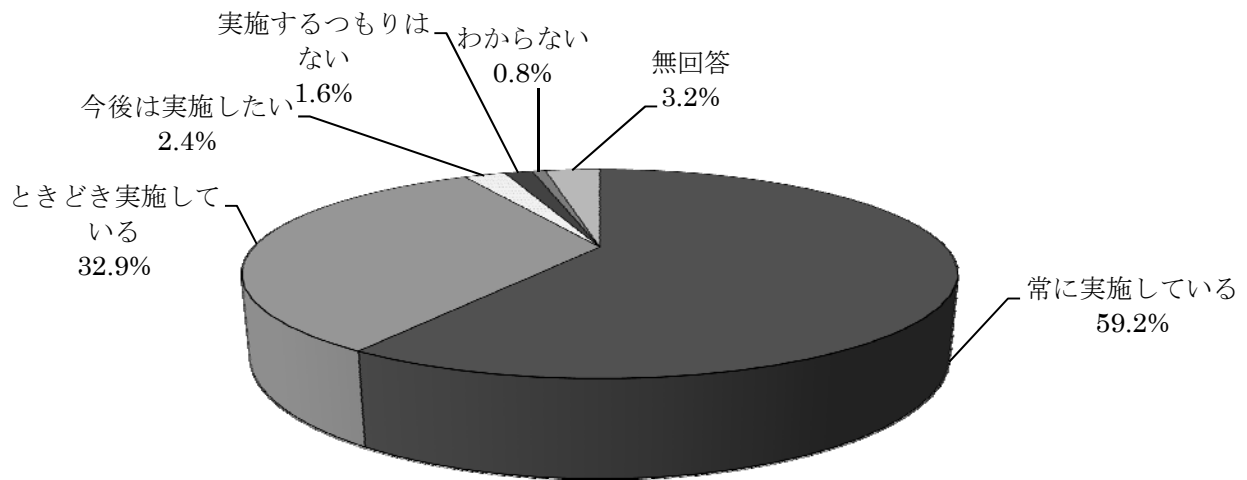
①冷暖房機器の設定温度を高め、低めに設定している（推奨温度は夏28度、冬20度）

N=1,047



②照明やテレビなど、こまめにスイッチを消している

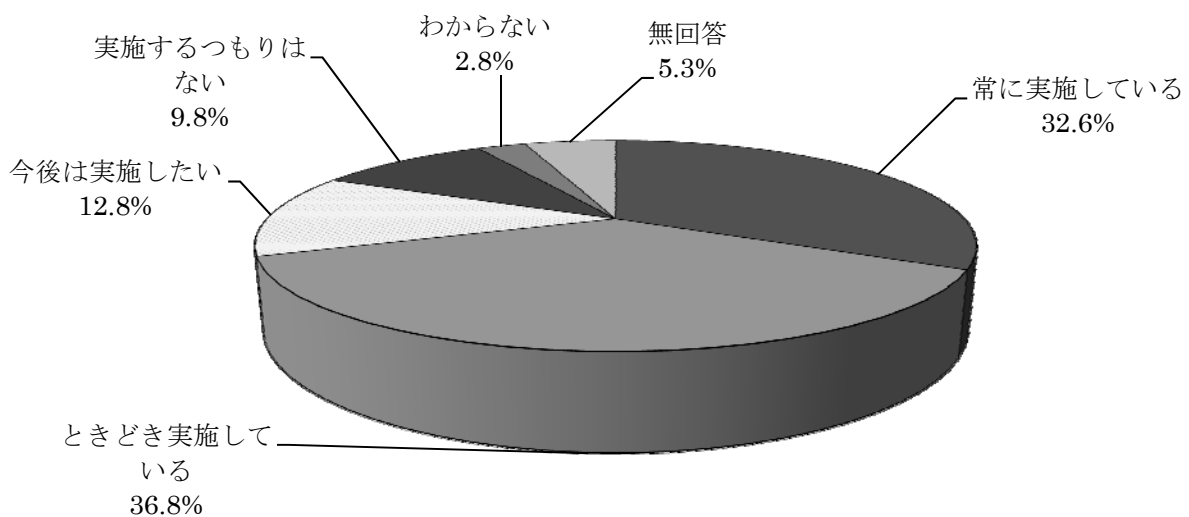
N=1,047



③使っていない電化製品のコンセントをこまめに抜いている (※)

※待機電力の節電対策として、使わないときは主電源をオフにすることも含みます。

N=1,047



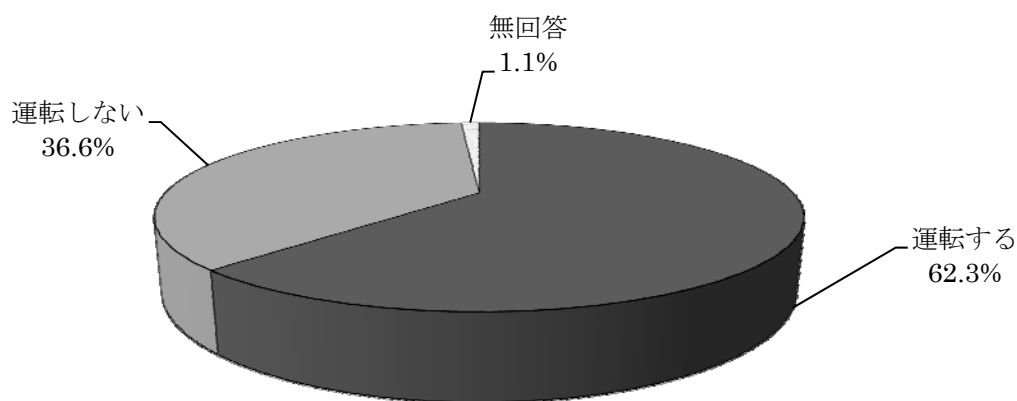
<エコドライブについて>

本市では、ゆっくり発進する「ふんわりスタート」(目安は発進から5秒で20km/h)や、自動車を駐停車しているときにエンジンを切る「アイドリング・ストップ」等の「エコドライブ10のすすめ」を推奨しています。

※ 平成15年からは、本市条例でアイドリング・ストップが義務づけられています。買い物などで自動車から離れる場合や、休憩・電話などのために駐停車する場合などには、エンジンを止めなければなりません。

問10 あなたは、日ごろ自動車を運転しますか。(○は1つだけ)

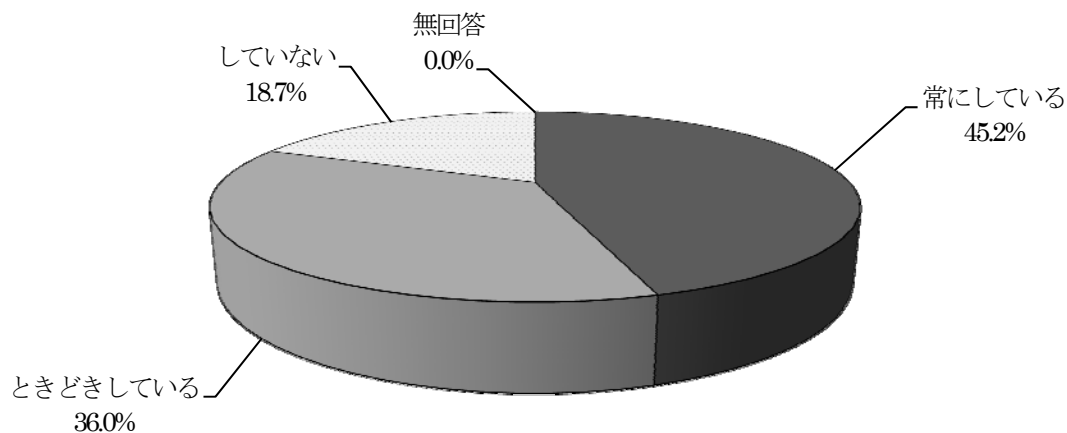
N=1,047



《問10で1と答えた方(自動車を運転する方)におたずねします。》

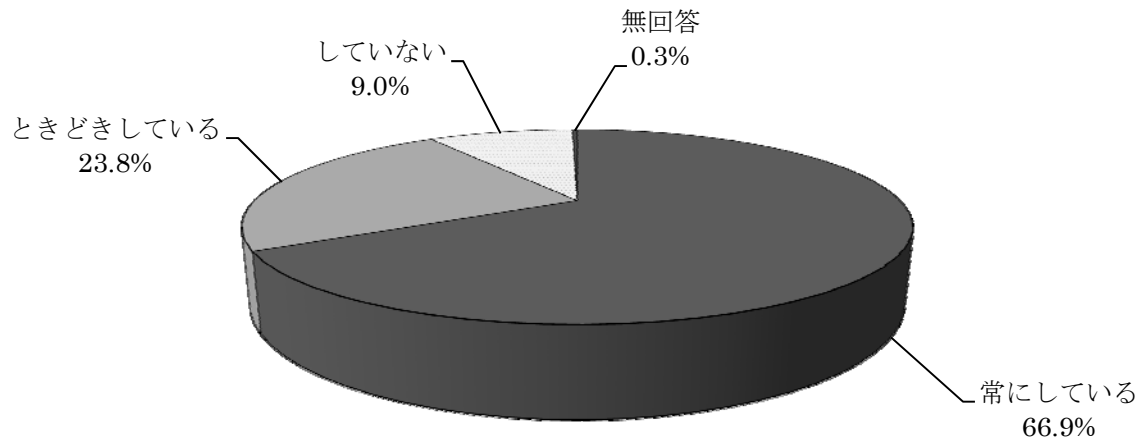
問11 あなたは、自動車を運転するときにエコドライブをしていますか。(○は1つだけ)

N=652



問 12 あなたは、駐車場などに駐停車中はアイドリング・ストップをしていますか。
(○は1つだけ)

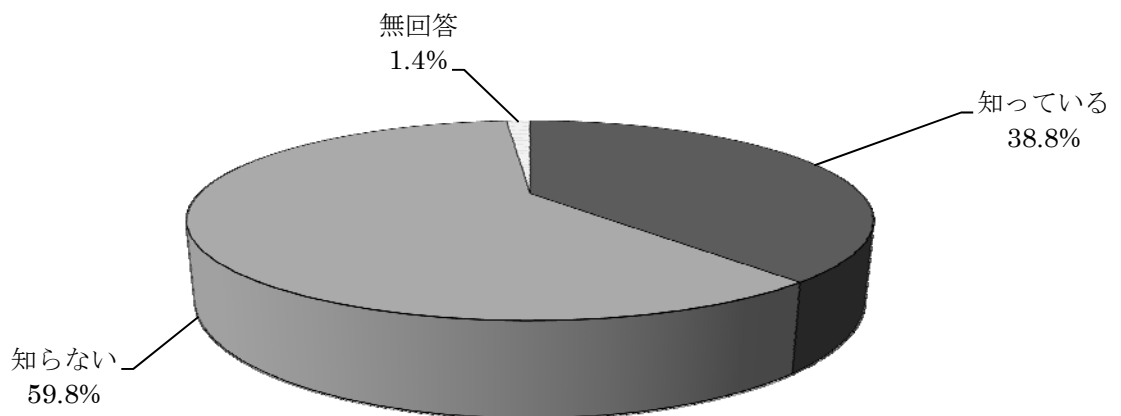
N = 652



《すべての方におたずねします。》

問 13 あなたは、条例でアイドリング・ストップが義務づけられていることを知っていますか。(○は1つだけ)

N = 1,047

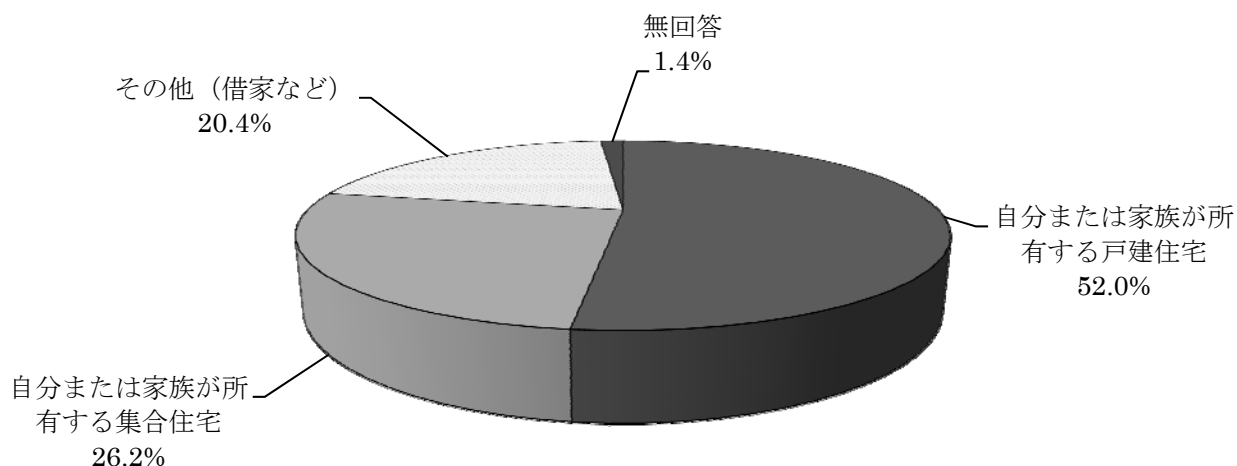


<省エネ住宅・省エネ設備について>

住宅の省エネ化には、太陽光や自然の風を活用した設計や、断熱・遮熱設計、太陽光・太陽熱設備の設置、省エネ機器の導入など様々な方法があります。

問 14 あなたの居住形態を教えてください。(〇は1つだけ)

N=1,047

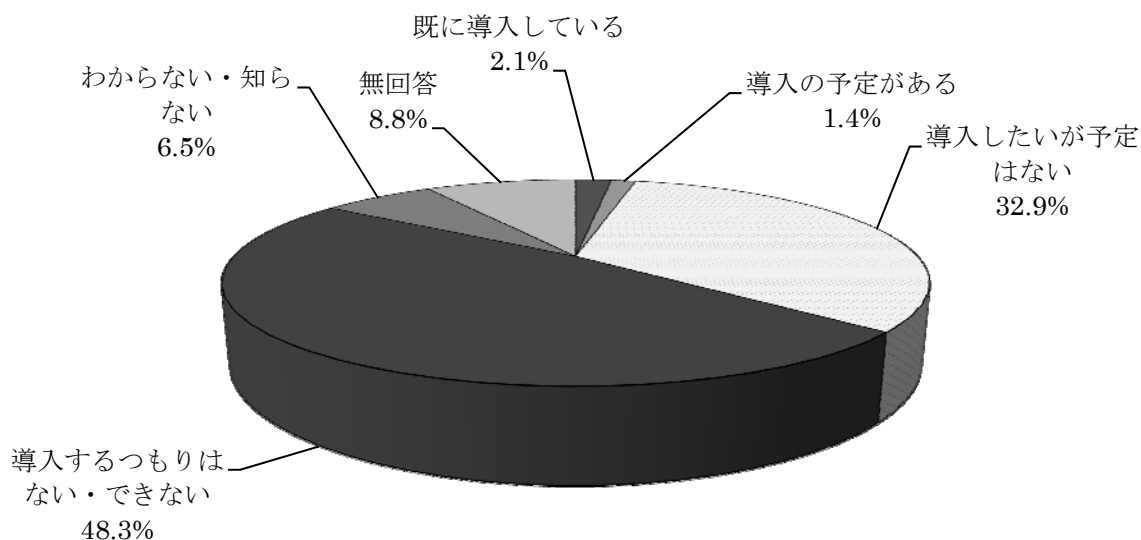


問 15 あなたのご家庭で導入している、または今後導入したいと思う省エネ設備は何ですか。(それぞれの項目について、該当する番号に〇を1つだけつけてください)

①太陽光発電

(太陽の光エネルギーが当たると電気が発生する太陽電池を使って発電する。)

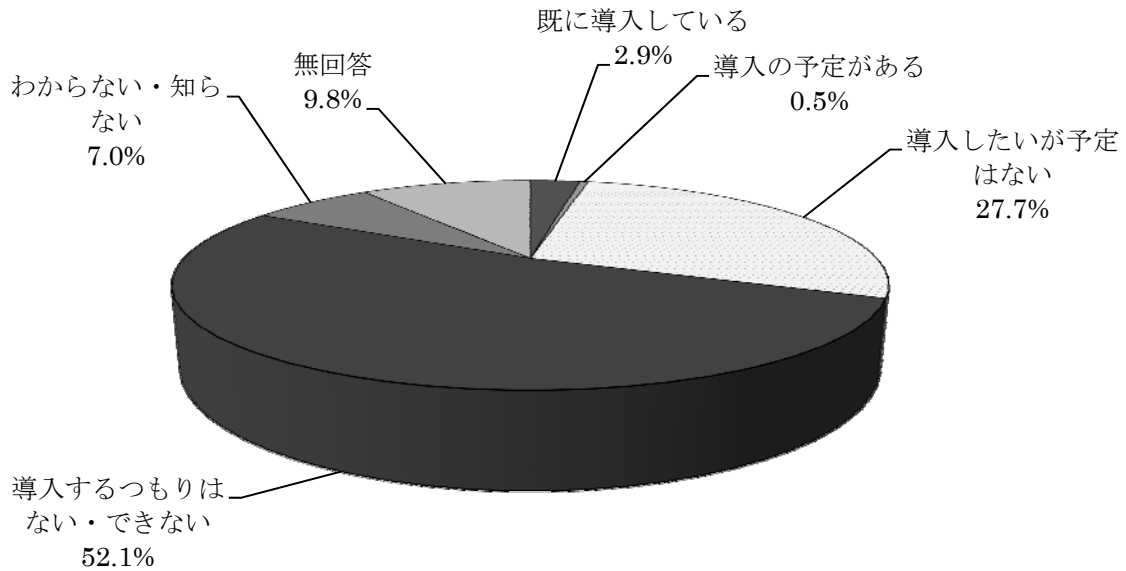
N=1,047



②太陽熱設備（温水器、ソーラーシステム）

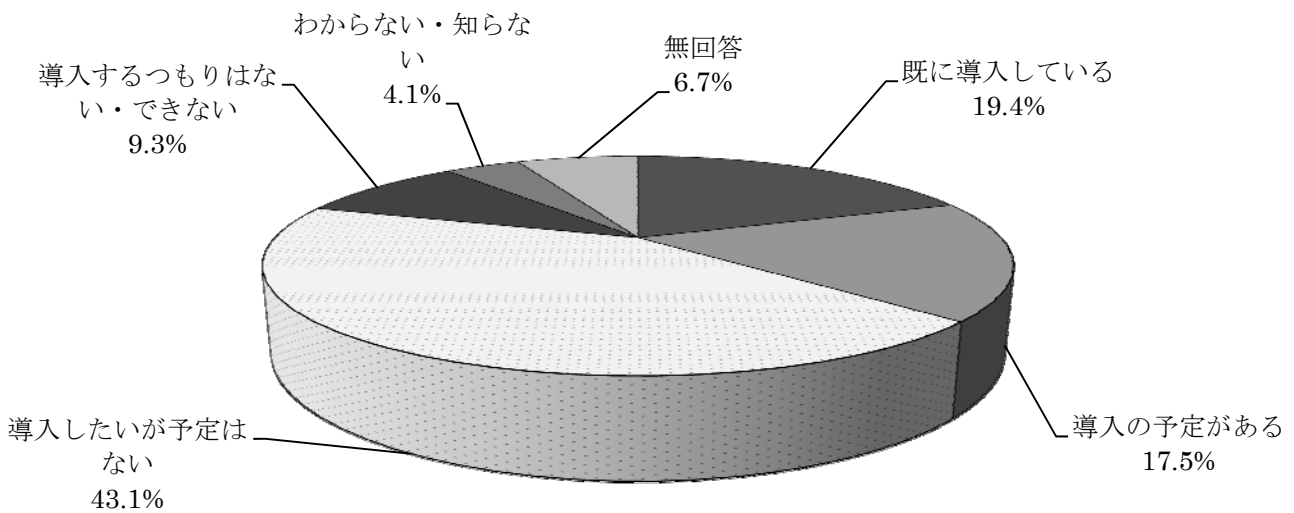
（太陽の熱エネルギーを屋根などに設置した太陽熱集熱器で集め、温まった水や空気を、給湯や冷暖房に使用する。）

N=1,047



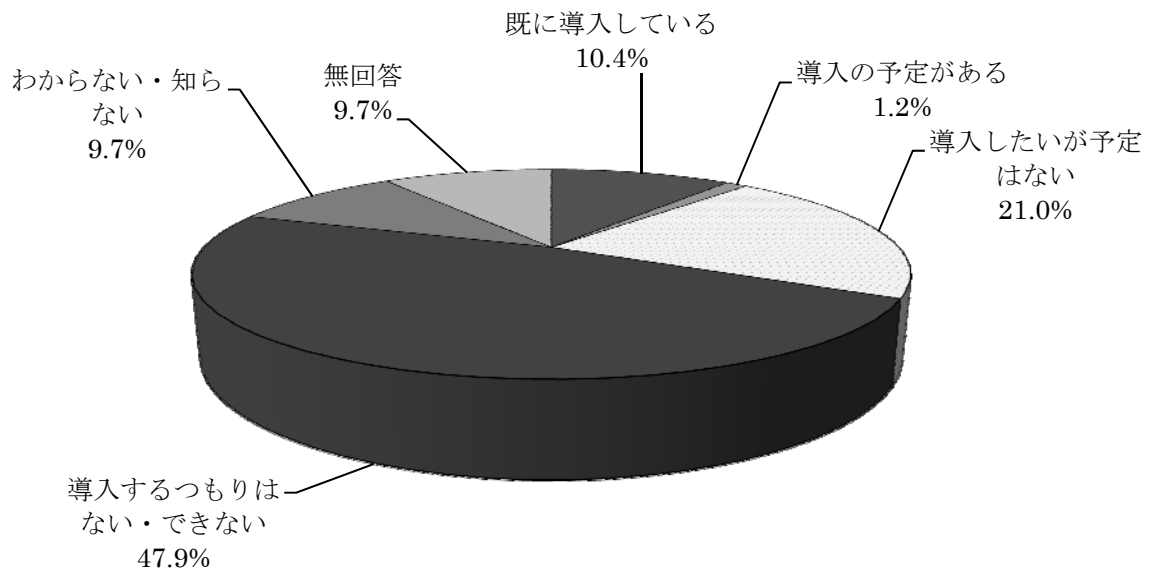
③LED照明

N=1,047



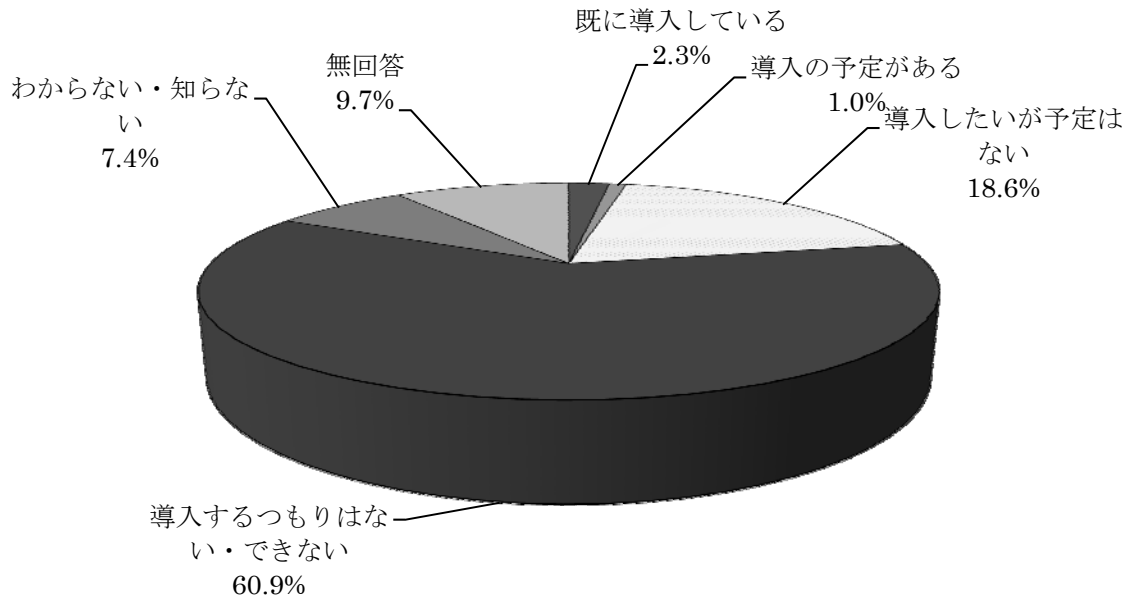
④屋根、壁面等の断熱改修

N=1,047



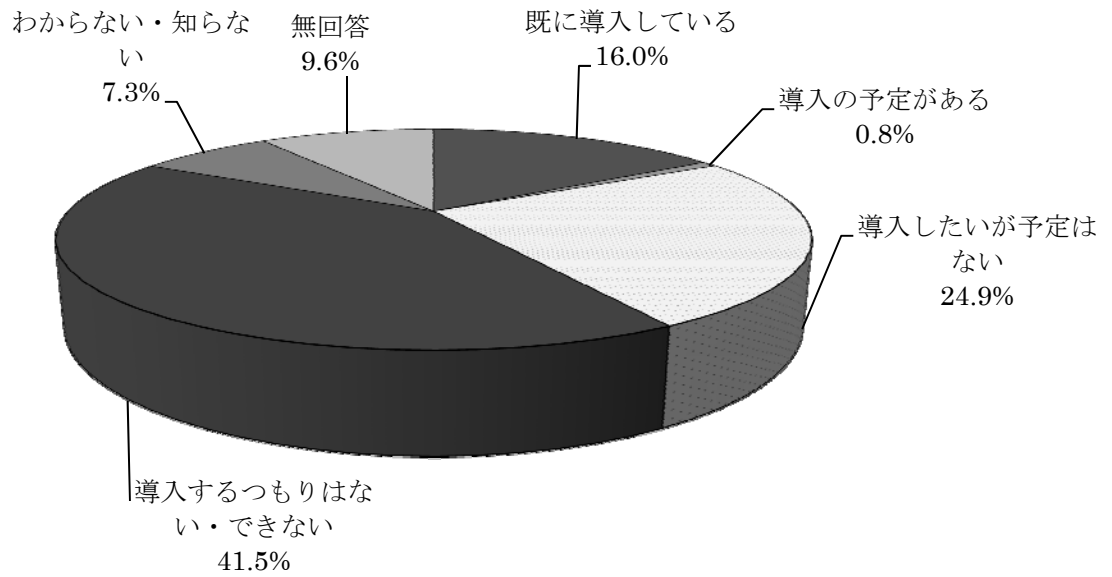
⑤屋上緑化・壁面緑化

N=1,047



⑥複層ガラス（ペアガラス、二重ガラス）

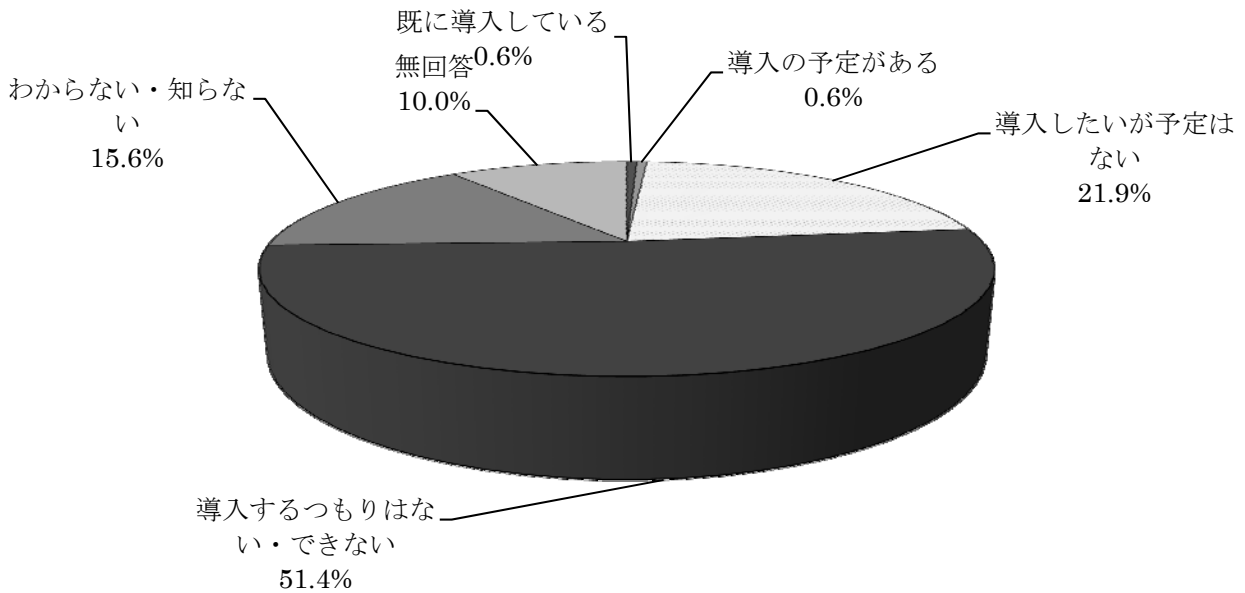
N=1,047



⑦家庭用燃料電池（エネファーム）

（ガスを用いて燃料電池で発電するとともに、その際の排熱を再利用し、お湯も同時に沸かす。）

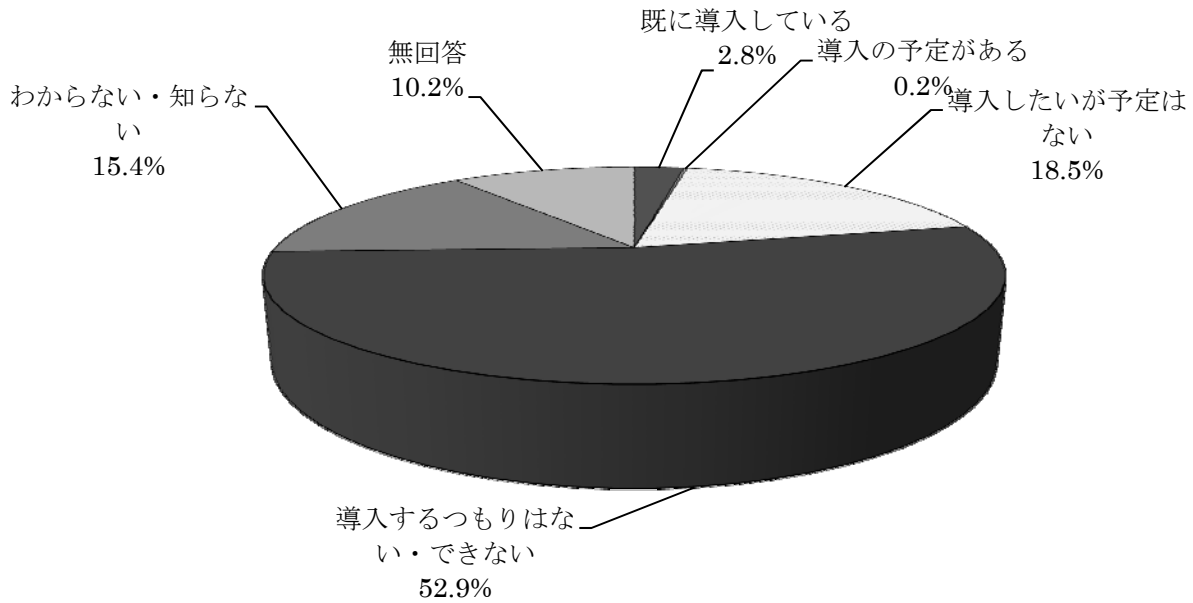
N=1,047



⑧ガス発電給湯器（エコウィル）

（ガスを用いてガスエンジンで発電するとともに、エンジンの排熱を再利用し、お湯も同時に沸かす。）

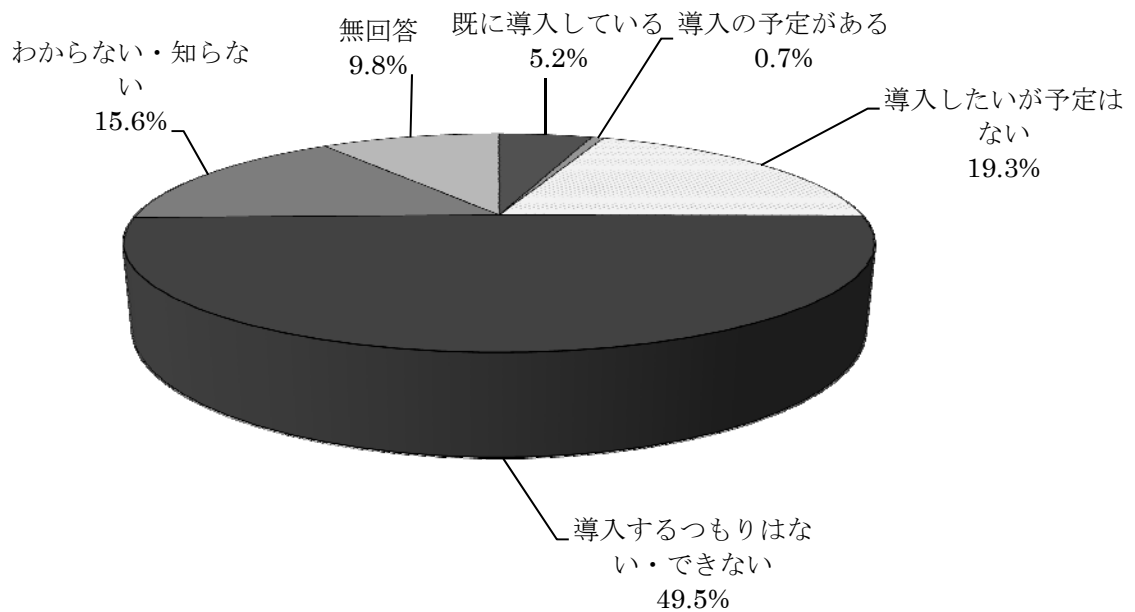
N=1,047



⑨ヒートポンプ給湯機（エコキュート）

（電気を用いてヒートポンプで空気の熱を高温にし、その熱を水に伝えることでお湯を沸かす。）

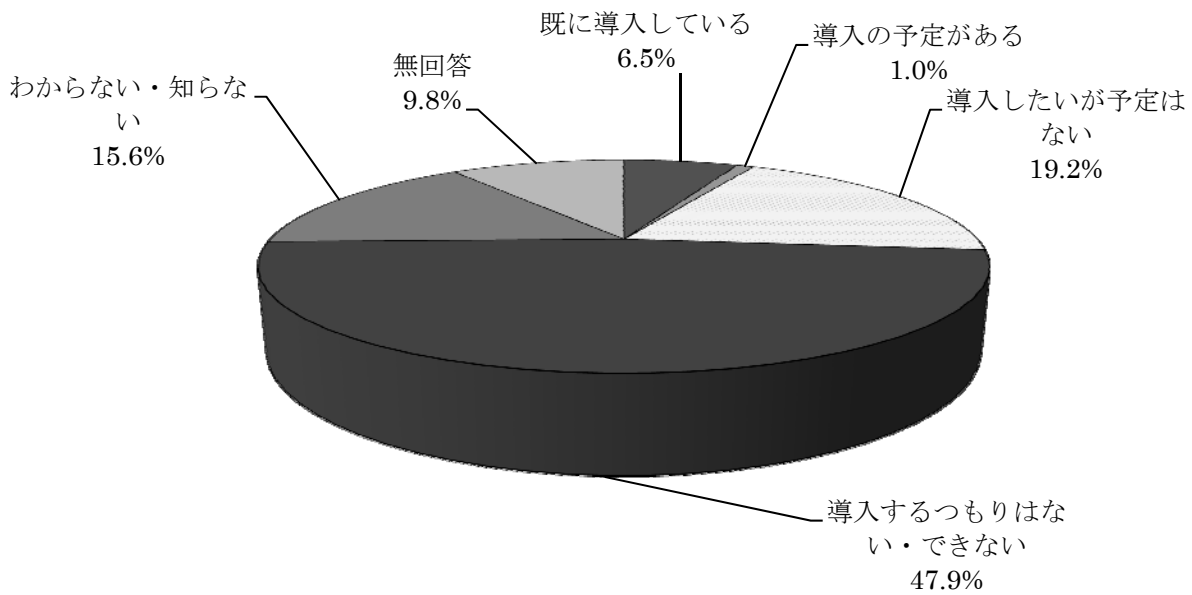
N=1,047



⑩高効率ガス給湯器（エコジョーズ）

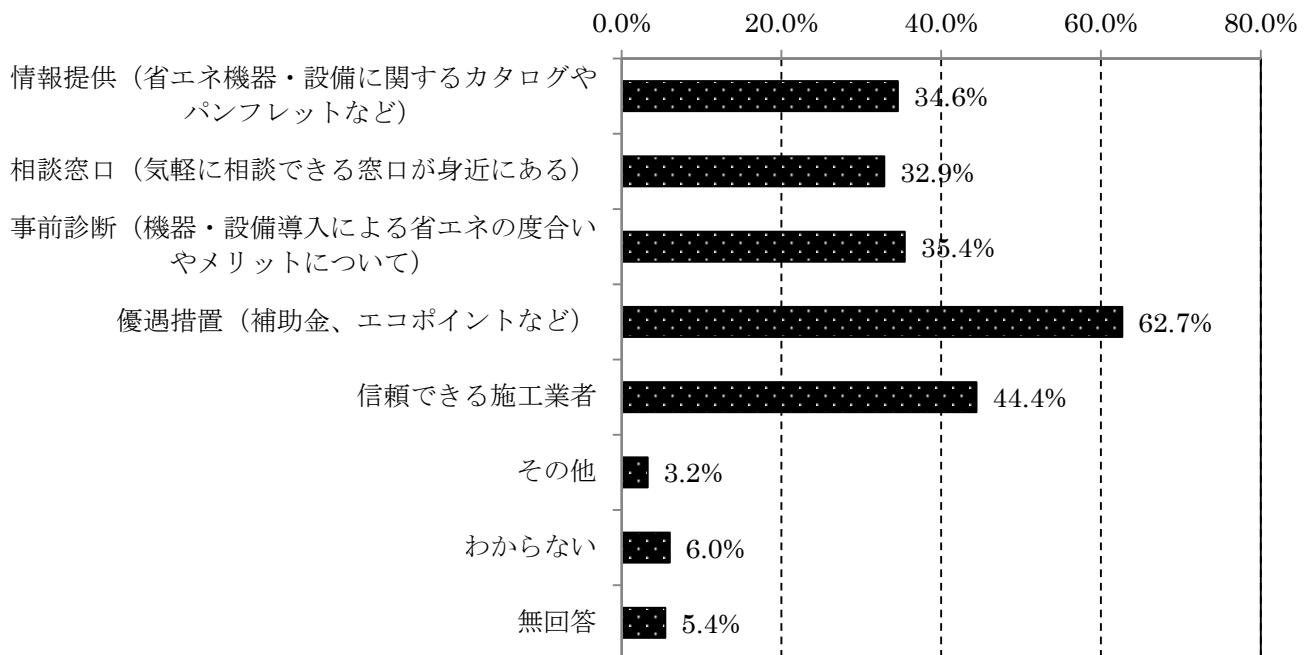
（ガスを用いて給湯器でお湯を沸かすとともに、その排熱を再利用してお湯を沸かす。）

N=1,047



問 16 住宅の省エネ化をすすめるため、必要と思われるものは何ですか。（○は3つまで）

N=1,047



<企業の節電の取り組みについて>

今年の夏は、安定した電力供給が厳しい状況になると予想されたことから、電気事業者のほか、名古屋市からも市民のみなさまに、「広報なごや」や「名古屋市公式ウェブサイト」などを通じ、節電のお願いをさせていただきました。

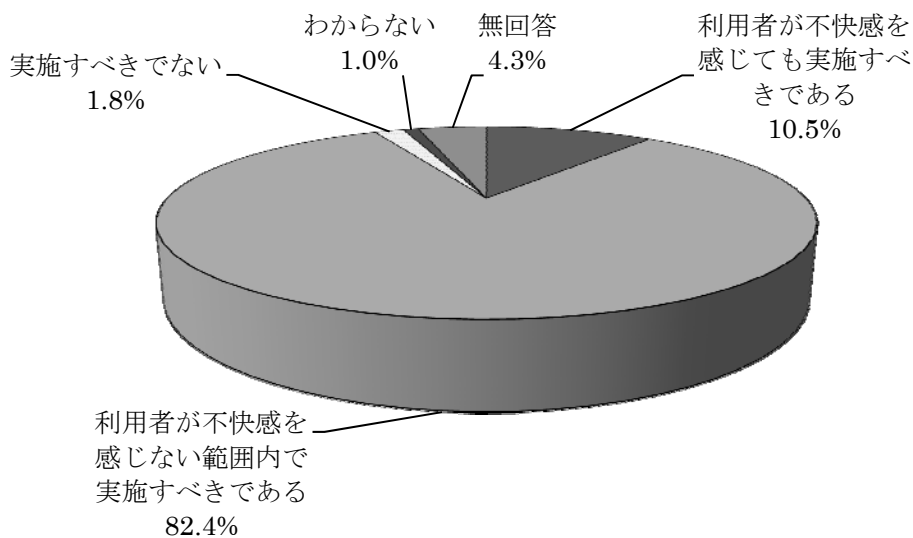
また、市内の事業者に対しても、事業所に訪問して省エネアドバイスをしたり、節電を啓発するチラシを配布し、節電のお願いをさせていただきました。

問 17 あなたは、店舗等の施設において、エアコンの設定温度の適正化（夏場であれば設定温度を1度上げる等）やフロア照明の一部消灯など、節電の取組を実施することについて、どのように思いますか。

（それぞれの項目について、該当する番号に○を**1つだけ**つけてください）

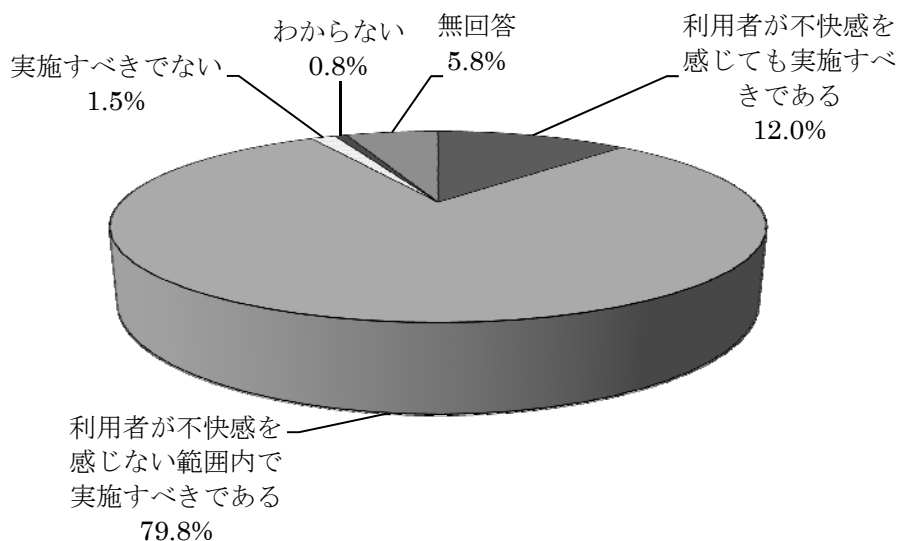
①百貨店・大型ショッピングセンター

N=1,047



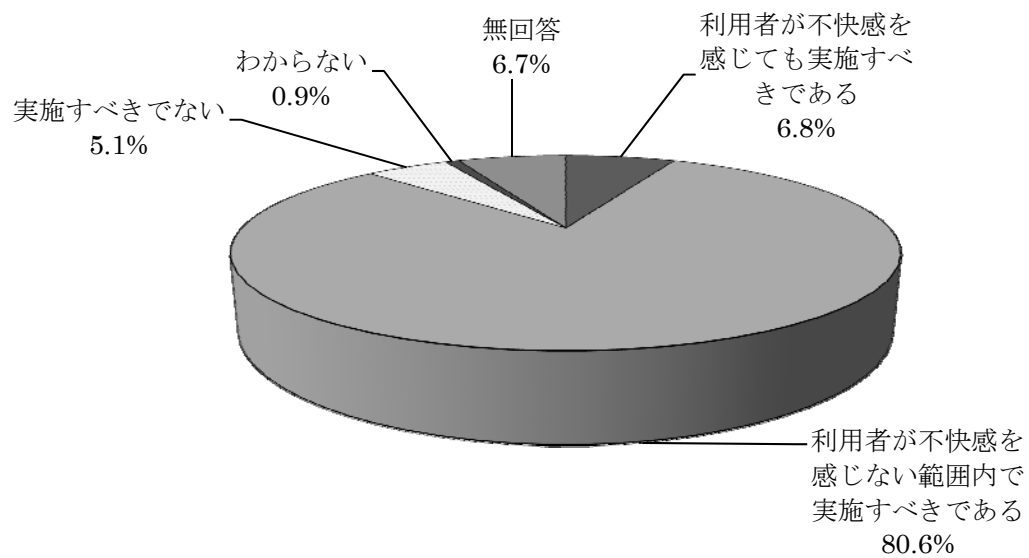
②スーパー・コンビニエンスストア

N=1,047



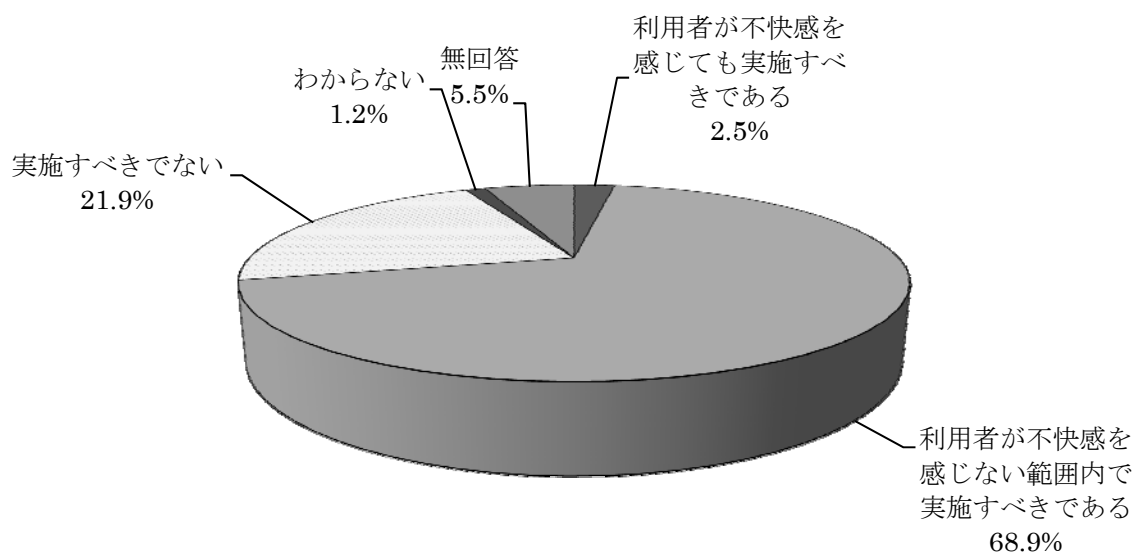
③飲食店

N=1,047



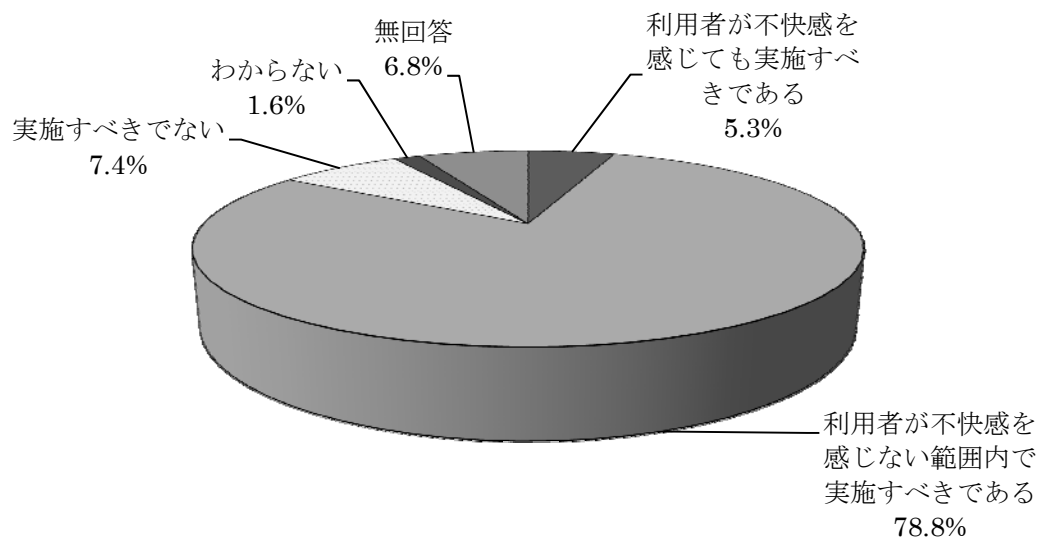
④病院

N=1,047



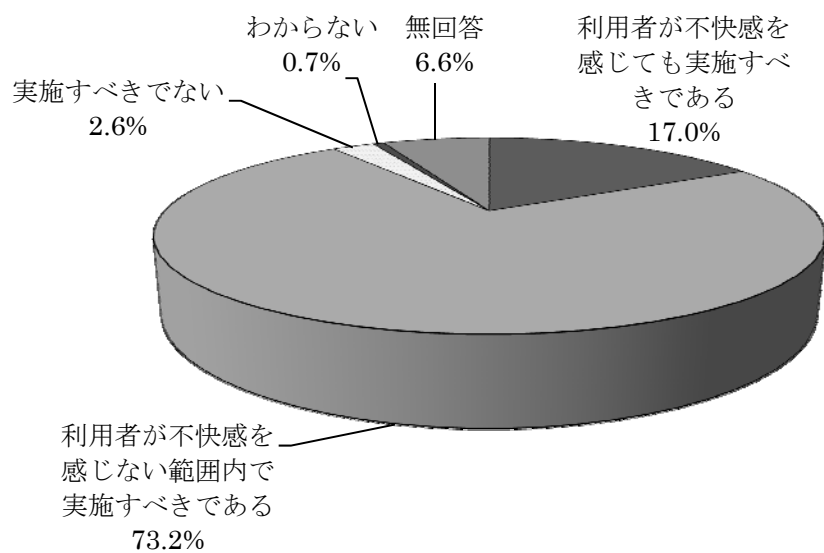
⑤ホテル・旅館

N=1,047



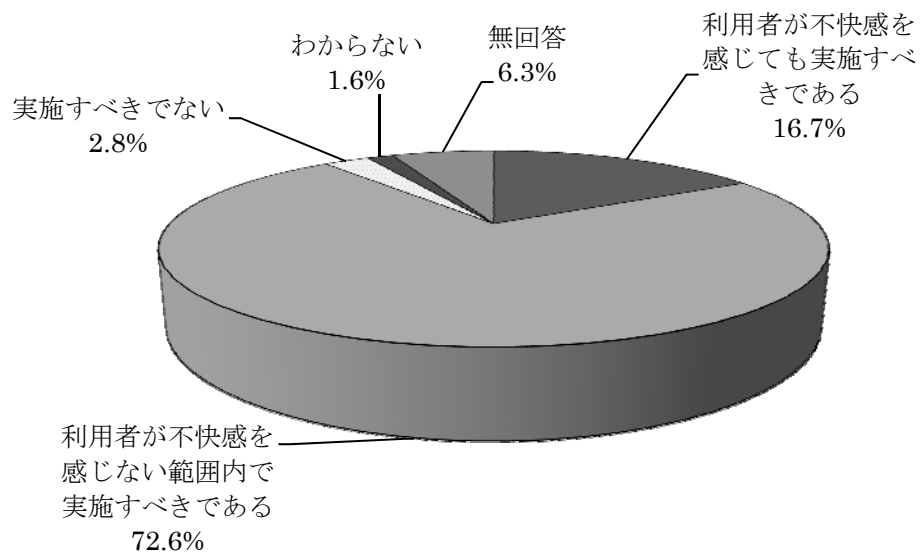
⑥銀行・郵便局

N=1,047



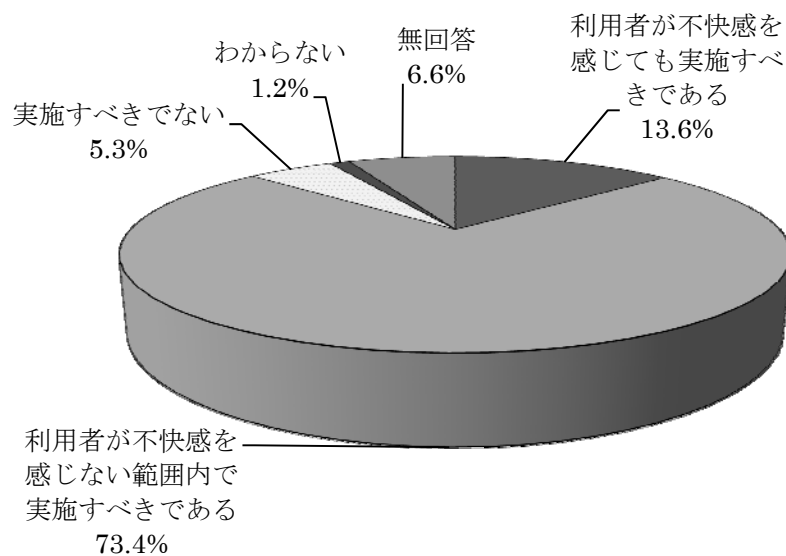
⑦レジャー施設（ボーリング場、カラオケボックス等）

N=1,047



⑧学校・教育施設（専門学校・大学含む）

N=1,047



⑨行政機関（区役所、保健所など）

N=1,047

